ボーリング柱状図

調　査　名　柳川市営住宅（仮称）建設に伴う地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Ｎｏ．１	調査位置	柳川市佃町			北緯	
発注機関	柳川市役所			調査期間	平成 26年 7月 14日 ～ 26年 7月 16日	東経	
調査業者名	電話（　－　－　）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	3.19m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°
総掘進長	30.00m	使用機種		試錐機	東邦Ｄｏ－Ｄ	ハンマー落下用具	コーンプーリー
				エンジン	ヤンマーＮＦＤ－１０	ポンプ	東邦ＢＧ－３Ｃ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	2.89	0.30	0.30		埋土	黄灰			マサ土による埋土。 転圧効果良好。
1	1.49	1.40	1.70		礫混じりシルト	暗灰			軟質な粘性土。 φ２～30mm大の礫を若干混入。 腐植物・微粒砂混入。
2 3					シルト	暗灰			GL-1.70mに自然水位。 含水量非常に多く、極めて軟質。 飽和状態を呈する。 孔壁の迫り出し見られる。
4	-0.96	2.45	4.15						
5 6 7 8 9	-6.51	5.55	9.70		砂混じりシルト	暗灰			含水量多く極めて軟質な粘性土。 部分的に砂層（微～細粒砂）を帯状に介在。 4.0m～5.0m付近は、やや固結状態（細粒砂の介在も見られる） 貝殻片若干混入。 部分的に孔壁の迫り出し見られる。
10	-7.61	1.10	10.80		固結シルト	暗灰			凝灰質を帯びる。 固結度高い。
11 12	-9.51	1.90	12.70		凝灰質砂	暗灰			微～細粒砂による。 含水量多く、孔壁の崩壊見られる。
13	-10.71	1.20	13.90		礫混じり砂	暗灰			細粒砂を主体とする。 φ２～10mm大の細礫混入。
14 15 16 17 18	-15.61	4.90	18.80		凝灰質砂	暗黄灰			微～細粒の火山灰を主体とする。 φ２～20mm大の軽石を混入する。 下層部は部分的に軽石密集する。 16.0m以深は密度非常に高い。
19	-16.61	1.00	19.80		砂質粘土	暗灰			低含水状態。 やや固結状を呈する。
20 21 22 23	-20.51	3.90	23.70		砂礫	暗灰			凝灰質を帯びる。 不均一粒砂（細～粗粒）を主体。 φ２～40mm大の礫を多く介在。 含水量多く、孔壁の崩壊見られる。 全体的に密度は、中位～非常に密なを示す。 部分的に粘性土分を若干混入。
24 25	-22.71	2.20	25.90		粘土質砂	暗灰			やや凝灰質を帯びる。 固結度は中位程度。
26	-23.51	0.80	26.70		凝灰質砂	暗緑灰			均一な細粒砂状を呈する。
27									凝灰質を帯びる。

孔内水位(m)／測定月日：7/16 1.35 7/24 1.70

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	2	1	4／30	4
1.45 2.00	ハンマー自沈			0／50	0
2.50 3.00	ハンマー自沈			0／50	0
3.50 4.15	2	3	1	6／30	6
4.45 5.15	1／20	1／15		2／35	2
5.50 6.15	ハンマー自沈			0／35	0
6.50 7.00	ハンマー自沈			0／50	0
7.50 8.00	ハンマー自沈			0／50	0
8.50 9.00	ハンマー自沈			0／50	0
9.50 10.15	5	5	6	16／30	16
10.45 11.15	3	2	3	8／30	8
11.45 12.15	5	5	4	14／30	14
12.45 13.15	5	5	7	17／30	17
13.45 14.15	4	9	8	21／30	21
14.45 15.15	6	9	12	27／30	27
15.45 16.15	16	16	18	50／30	50
16.45 17.15	15	17	18／7	50／27	56
17.42 18.15	17	18	15／8	50／28	54
18.43 19.15	1	2	1	4／30	4
19.45 20.15	14	15	17	46／30	46
20.45 21.15	15	20	15／9	50／29	52
21.44 22.15	13	12	13	38／30	38
22.45 23.15	15	14	16	45／30	45
23.45 24.15	2	2	2	6／30	6
24.45 25.15	2	2	3	7／30	7
25.45 26.15	10	12	16	38／30	38
26.45 27.05	30	20／5		50／15	100
27.20					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
3.00	孔内水平載荷試験 Km=9.384MN/m3	3.00	T-1	Ⓣ	物理・三軸	
3.60		3.80				
		7.00	S-1	⊖	粒度・土粒子の密度	
		7.50				
		10.15	S-2	⊖	粒度・土粒子の密度	
		10.45				
		11.15	S-3	⊖	粒度	
		11.45				
		13.15	S-4	⊖	粒度	
		13.45				7／14
						7／15

27											27.05	30	20/5		50/15	100																		
28					砂礫	暗灰			凝灰質を帯びる。 φ２～45mm大の礫を多く介在。 マトリックス部は不均一粒砂（細～粗粒）による。 含水量非常に多く、孔壁の崩壊見られる。 逸水多い。		27.20 28.15	15	17	18	50/30	50																		
29											28.45 29.05	22	14	14/8	50/28	54																		
30	-26.81	3.30	30.00								29.33 30.05	28	22		50/20	75																		7/16
											30.25																							

ボーリング柱状図

調　査　名　柳川市営住宅（仮称）建設に伴う地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo	

シートNo

ボーリング名	Ｎｏ．２	調査位置	柳川市佃町			北緯	
発注機関	柳川市役所			調査期間	平成 26年 7月 17日 ～ 26年 7月 21日	東経	
調査業者名	電話（　－　－　）	主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	3.12m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°
総掘進長	30.00m	使用機種	試錐機：東邦Ｄｏ－Ｄ	ハンマー落下用具	コーンプーリー	エンジン：ヤンマーＮＦＤ－１０	ポンプ：東邦ＢＧ－３Ｃ

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	2.72	0.40	0.40		埋土	黄灰			マサ土による埋土。 GL-0.30mに自然水位存在。
1	1.22	1.50	1.90		礫混じりシルト	暗灰			上層部は旧耕作土を含む。 腐植物混入。 粘着力強く、軟質。 部分的に薄い砂層を介在する。
2 3	-0.68	1.90	3.80		シルト	暗灰			高含水で飽和状態を呈する。 孔壁の迫り出し見られる。 極めて軟弱。 腐植物若干混入。 部分的に薄い砂層を介在する。
4 5	-2.58	1.90	5.70		凝灰質砂	暗灰			細粒砂状を呈する。 含水量多い。 孔壁若干崩壊する。
6 7 8 9 10	-7.68	5.10	10.80		砂混じりシルト	暗灰			高含水にて飽和状態を呈する。 極めて軟弱。 部分的に薄い砂層を介在する。 腐植物若干混入。 孔壁の迫り出し見られる。
11 12	-9.68	2.00	12.80		凝灰質砂	暗灰			細粒砂状を呈する。 含水量多く孔壁若干崩壊する。
13 14 15 16 17 18 19	-16.58	6.90	19.70		凝灰質砂	暗緑灰～暗黄灰			微粒砂状。 含水量多く孔壁の崩壊若干見られる。 φ２～40mm大の軽石を混入する。 密度的にはバラツキ見られるが、比較的高い値を示す。
20	-17.78	1.20	20.90		凝灰質砂	暗灰			微～細粒砂状。 含水量多く孔壁の崩壊若干見られる。
21 22 23	-20.68	2.90	23.80		砂礫	暗灰			凝灰質を帯びる。 φ２～ 35mm大の礫を多く介在。 マトリックスは細粒砂を主体。 含水量多く孔壁崩壊する。
24 25 26	-23.78	3.10	26.90		凝灰質砂	暗灰			微～細粒砂を主体。 部分的に固結シルトを介在する。 粘土分の多い所は低密度。
27									

孔内水位(m)／測定月日：0.30 7/17；1.30 7/18

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1/15	1/15		2/30	2
1.45 2.00	ハンマー自沈			0/50	0
2.50 3.00	ハンマー自沈			0/50	0
3.50 4.15	3	3	2	8/30	8
4.45 5.15	2	1	1	4/30	4
5.45 6.15	1/35			1/35	1
6.50 7.00	ハンマー自沈			0/50	0
7.50 8.00	ハンマー自沈			0/50	0
8.50 9.00	ハンマー自沈			0/50	0
9.50 10.00	ハンマー自沈			0/50	0
10.50 11.15	2	1	2	5/30	5
11.45 12.15	4	4	4	12/30	12
12.45 13.15	2	4	5	11/30	11
13.45 14.15	8	10	12	30/30	30
14.45 15.15	10	11	11	32/30	32
15.45 16.15	9	14	17	40/30	40
16.45 17.15	15	20	15/5	50/25	60
17.40 18.15	20	30		50/20	75
18.35 19.15	13	14	17	44/30	44
19.45 20.15	8	9	12	29/30	29
20.45 21.15	21	29	15/9	65/29	67
21.44 22.15	20	13	13	46/30	46
22.45 23.15	8	19	23/9	50/29	52
23.44 24.15	2	2	3	7/30	7
24.45 25.15	4	3	4	11/30	11
25.45 26.15	10	15	16	41/30	41
26.45 27.05	50/8			50/8	188
27.13					

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
3.00	孔内水平載荷試験 Km=14.271mN/m3	3.00	T-1	①	物理・三軸	7/17
3.60		3.80				7/18

27	-23.78	3.10	26.90		砂礫	暗黄灰			φ２～50mm大の礫を多く介在。 マトリックスは不均一粒砂。 含水量多く孔壁崩壊する。 密度非常に高く安定した支持地盤を形成する。			27.05	50/8			50/8	188															
												27.13																					
28												28.05	25	25/5		50/15	100																
												28.20																					
29												29.05	17	18	15/8	50/28	54																
												29.33																					
30	-26.88	3.10	30.00									30.05	28	22/9		50/19	79																7/19
												30.24																					